

むさしのライフ

A to Z

知っているようで、あまり知られていない市内のあれこれについて、中学生記者が現場を取材、調査していきます。

Q

むさしの-FM(78.2MHz)では、
どんな風に番組を
放送しているの？



今回取材したのは

「むさしの-FM(78.2MHz)」(株式会社エフエムむさしの)

(武蔵野市吉祥寺本町1-10-7 武蔵野商工会館3階)

平成7(1995)年3月28日、東京都で初となるコミュニティ放送局として開局。武蔵野市とその周辺をメインエリアとした約100万人のリスナーに向け、音楽や文化情報をはじめ、地域の安全情報や市政情報、災害時情報などを発信している。午前7時(土曜日は8時)～午後8時の間はパーソナリティが進行する生放送を、夜間はジャズをトークレスで放送中。

今回話を聞いたのは

ほりうちげん き

堀内元気さん

業務部放送課勤務。これまではディレクターやミキサーの仕事が中心だったが、今年10月からはアナウンサーとしても活躍する予定。「ラジオはテレビとは異なり、言葉だけで情報を伝達します。それはコミュニケーションの基本といえるでしょう。ラジオをたくさん聞くことでプロのしゃべりに触れ、人との接し方を知ってほしいですね」



むさしの-FMの放送スタジオ

災害情報も
むさしの-FMで



災害情報を即時にチェック

むさしの-FM(78.2MHz)では、災害時に市と連携して、地域に密着したきめ細かい警戒・安全情報を発信。また武蔵野市を含む多摩北部に大雨警報が発令された場合や大雨の恐れがある場合も気象情報などを随時放送します。

職業体験



1 原稿出力

ニュースを読む際、アナウンサーはまずパソコンからニュースを検索、必要な原稿をプリントアウトして手元に。

2

原稿チェック

放送前に原稿を黙読・音読して、読み間違えのないようかなをふったり、間を置くところに印をつける。



3

ミキサーの仕事

音楽やCMなどを流したり、音量を調整して番組をスムーズにまとめる。アナウンサーへの指示出しも担当。



4

アナウンス

「聞いている人がわかりやすいこと」を意識しながら、ひとつひとつの言葉をはっきり発声。



意識してもやっぱり早口になっちゃった!



使う機材が多いけれど、結構うまく出来たかな



平日午前9時から放送の「朝のエアゾーン」に生出演!

番組に生出演!

寺井くん：緊張したけど、アナウンサーの人の聞き方が上手で、うまくこちらの話を引き出してもらった感じがします。



中川くん：小学生の時に放送委員をやっていたから、こういう場には慣れているけど、なんだかあっという間でした。



A

むさしの-FMは小さな放送局なので、ひとりの職員がアナウンサーやミキサー、編集など、多くの仕事をかけもちしながら番組を作っています。また地域に密着した内容を届けるために、市や市民団体などとも協力し合いながら、きめ細かい情報を発信しています。

中学生記者募集!!

あなたも『むさしのライフ A to Z』の中学生記者に挑戦してみませんか。武蔵野市内にまつわる素朴な疑問や知りたいことなどを折り込みハガキに記入して、どんどん応募してください。友達と一緒にの参加も歓迎です。

取材を終えて



寺井くん

マイクや機材を通して、ここから広い範囲のリスナーに音や声が届いているってことが、単純だけど、「すごい!」って思いました。



中川くん

働いている人の動きひとつひとつの手際が良くて、プロの人なんだなと思いました。もし自分が働いたら、ミキサーの仕事が一番好きかな。